特集

認知症を持つ患者の意思決定支援

本特集では，認知症を持つ患者さんの意思決定支援について，本人の意思や希望を尊重した「医療同意」の視点を軸に考察します。
現在は事実上，各施設の運用や実践に委ねられている，認知症を持つ患者さんの同意能力の評価や意思決定支援。本来は新たに医療行為を実施する際には本人の同意が必要ですが，すぐに「認知症の患者だから同意能力がない」と見なしてしまうことや，同意能力の評価を行いたいと思っても多忙な現場の中で効果的な方法が見いだせていない施設も少なくないのではないでしょうか。
本特集では，そのよりよい姿，あるべき姿について，成本迅氏による「認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発」プロジェクトの内容と，各地域の看護師の方々による倫理的な実践報告を基に考察します。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2017

2026/09/13 22:02:09